

経団連 奥田会長 関経連会長

日本経団連の奥田碩会長は8日、大阪市内で会見し、関西経済連合会の秋山喜久会長（関西電力会長）が統投を決めたことについて「早く後継者を作って辞められるのが一番いいことじゃないかと思う」と述べ、できるだけ早期に辞任するのが望ましいとの考えを示した。

奥田会長は、関西経済界の人材不足が秋山氏の統投の背景にあるとされている点について「人材不足というのは間違いで非常に優秀な方がたくさんいる。問題は人材がやる気を起こす環境作りの赤字だった。

伊吹山スキー場 経営撤退を発表

近江鉄道

西武鉄道グループの近江鉄道（本社・滋賀県彦根市）は8日、同県米原市の伊吹山スキー場の経営から10月末で撤退すると正式に発表した。同スキー場は、西武グループ経営改革委員会が3月末にまとめた売却・撤退候補リストにあがっていた。

同スキー場は1957年から同社が経営してきたが、雪不足などから来場者数が年々減少。ピークの83年シーズンには約19万人が来場したが、今シーズンは約3万5千人と低迷。約1億6千万円

のリフト11基、ゴンドラ1基のほか、レストラウンやホテルがある。今後、米原市などと施設の引受先などを探すという。

再建ゼネコ

外資

フジタや三井住友建設など経営再建中のゼネコに金融市場から投資マネーが流れ込んでいる。ゼネコの取引銀行が巨額の金融支援をしたあと、外資系金融機関が投資の好機ととらえ、乗り込んできたためだ。数年後に高い収益を稼げる予